



# 5月のえんだよめ

太陽の子保育園 平成22年5月号



新しいクラスでの生活が始まって、早くも1ヶ月が経ちました。はじめはどこか不安の表情が見えた子どもたちも、今では新しい担任・お部屋にも慣れ、お友達と楽しくすごしています。

あたりではにわかには木々の緑が目立ちはじめました。動くとすぐに汗ばむような日もありますが、今の時季は子どもたちができるだけ元気に外で遊べるような工夫をしています。健康のためには、外で体を動かして遊ぶことが何より大切です。ご家庭では、なかなか外で遊べなくなっている現在、園で思いきり体を動かせる環境を整えていこうとしています。

**春の親子遠足**

日時：5月8日(土) 午前9:55 集合  
場所：昭和記念公園

詳しい内容は後日しおりを配布致します。



## 5月の予定

- 8日(土) 親子遠足
- 11日(火) 幼児体育指導  
園内職員研修
- 12日(水) 避難訓練
- 14日(金) 調理保育(らいおん)
- 17~21日 身体測定の週間
- 17~21日 職場体験(羽2)
- 20日(木) お誕生日会
- 21日(金) むし歯予防集会
- 22日(土) 職員園外研修
- 25日(火) 歯科検診



## 6月の予定

- 3日(木) 調理保育(くま)
- 5日(土) ひよこ組懇談会
- 9日(水) 避難訓練
- 11日(金) 園内職員研修
- 15日(火) 幼児体育指導
- 21~25日 身体測定の週間
- 24日(木) お誕生日会
- 25日(金) 職員会議

## 昭和記念公園

昭和記念公園は、こどもから大人まで幅広く楽しむことができる国営公園です。特に5月30日までは、「フラワーフェスティバル2010」が開催されており、桜・ナノハナ・チューリップ・ムラサキハナナ・アグロステンマ・シャレーポピーなどが、次々とリレーしながら開花していく様子を楽しむことができます。

こどもたちに大人気なのは、「こどもの森」。ワクワク広場・月の丘・森のとりで・地底の泉・虹のハンモック・森の家・石の谷・霧の森・太陽のピラミッド・雲の海・ドラゴンの砂山と、1日ではあそびきれない程たくさん施設があります。

6月27日まで「水あそび広場」であそべます。あそび際には水着が必要となります。



### 開園時間

期間	時間
3月1日~10月31日	9:30~17:00
11月1日~2月末日	9:30~16:30

※開園時間はプール開設期間・催し物等によって変更する場合があります。

### 休園日

年末年始(12月31日・1月1日)及び2月の第4月曜日とその翌日

※昭和天皇記念館の休館日は月曜日(月曜日が休日の場合は直後の平日)と年末年始(12月31日・1月1日)及び2月の第4月曜日とその翌日

### 入園料

	一般
大人	400円
小人(小・中学生)	80円

※小学生未満のお子様は無料です。

## 端午の節句



端午の節句とは5月5日に、こいのぼり・鎧兜・菖蒲を飾ったり、菖蒲湯に入り柏餅やちまきを食べ、男の子の厄よけと成長を祝う行事です。

子どもの日は、「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」国民の祝日です。子どもの成長を祝う「端午の節句」が5月5日だったことから制定されました。

★端午の節句の由来…古来より中国では、物忌みの月(5月)には厄払いの行事が盛んに行われていました。端午というのは、月の端(はじめ)の午(うま)の日という意味。午(ご)と五(ご)の音が同じなので、毎月5日を指すようになり、やがて5月5日のことになったとも伝えられています。端午の日に、邪気をはらう力があるといわれる「菖蒲」をヨモギとともに軒につるしたり、菖蒲湯に入ったりしました。「菖蒲」が、武運を大切に「尚武(しょうぶ)」と結びつき、男の子の厄よけと成長祈願になりました。

★なぜ男の子のお祝い?…5月5日は、徳川幕府の重要な式日に定められ、大名や旗本が、式服で江戸城に参り、将軍にお祝いを奉じるようになりました。そして、武家に男の子が生まれると、門前に馬印(うましるし)や幟(のぼり)を立てて男児誕生を衆々に知らせ、お祝いました。この行事が、薬草を摘んで邪気をはらうという端午の行事と結びつき、男の子の誕生の祝いへと結びついていったのだそうです。

## 春でも車内で熱中症に…車の中に子ども残さないで!!

ぽかぽか陽気が心地よくなるこれからの季節は、止めた車の中に閉じ込められた子供が熱中症になる事故が起きやすい時期でもあります。晴れの日でも外気温はそれほど上昇しないため、子どもを車内に残し買い物などに出掛けてしまうケースが多いためです。JAF(日本自動車連盟)などは「強い春の日差しに油断は禁物」と、注意を呼び掛けています。

JAFでは4月に、窓を閉め切った車内での温度変化をテストし、その結果、最高外気温は23.3度でしたが、車内室温は最高48.7度、ダッシュボードは同70.8度にまで達したそうです。

4枚の窓すべてを4センチ開けた車で、全閉した車より低いものの、車内温度は

最高38.9度まで上昇。「直射日光が当たるダッシュボードが熱源となるため、車内温度の上昇に、車種や外装色、外気温はあまり影響ない」としています。

JAF広報部は「外は涼しいから大丈夫という思い込みが、幼い子どもの熱中症事故を引き起こす原因」と指摘し、「春でも、車内気温は真夏と同じぐらい上昇することを知ってほしい」と訴えています。

外は23℃でも…



車内は49℃!!

